

目標と実績

積水ハウスがCSR活動の具体的指標としている社会性目標と環境目標を一覧表にまとめました

社会性目標と実績

- CSR方針と体制
- お客様のために
- 従業員、取引先のために
- 株主、地域社会のために

環境目標と実績

- エコ・ファーストの約束1
(家庭部門・事業活動のCO₂排出量削減)
- エコ・ファーストの約束2
(生態系ネットワークの復活)
- エコ・ファーストの約束3
(資源循環の取り組み)
- その他

CSR方針と体制

CSR推進体制と浸透

2011年度目標

職制別、各階層別集合研修等を継続し、CSR意識の向上を図る。

評価

○

2011年度の実績、コメント	関連取り組み
e-ラーニングを活用し、従業員一人ひとりのCSR活動の実践につなげた。	<ul style="list-style-type: none"> ▶ CSRに関する方針・指針 ▶ CSR推進体制と組織マネジメント ▶ CSRマネジメントツール

2012年度目標

集合研修、e-ラーニングを継続し、CSR意識の向上を図る。

2011年度目標

事業所ごとの目標と実績を活用し、PDCAサイクルを加速。取り組みレベルをさらに向上させる。

評価

○

2011年度の実績、コメント	関連取り組み
CSRへの取り組みの各分野における目標と実績を検証し、改善活動を推進することにより事業所ごとのレベル差を改善できた。	<ul style="list-style-type: none"> ▶ CSRに関する方針・指針 ▶ CSR推進体制と組織マネジメント ▶ CSRマネジメントツール

2012年度目標

引き続き事業所ごとの取り組みレベルをさらに向上させる。

2011年度目標

各支店のマネジメント状況を検証。各種ツールの運用で、従業員全員のコンプライアンス意識を一層向上させる。

評価



2011年度の実績、コメント	関連取り組み
<p>全従業員から「企業倫理要項」等を遵守する旨の誓約書を取得。「ガバナンス意識調査」を実施し、マネジメントスタイル気付きのツールとして実践的に活用。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ コンプライアンスの考え方 ■ CSRマネジメントツール ■ コンプライアンス推進活動 ■ 内部通報システムと公益通報者の保護 ■ 個人情報保護の取り組み

2012年度目標

各種ツールの運用で、従業員全員のコンプライアンス意識を一層向上させる。

2011年度目標

人権擁護について、引き続き事業所の責任者がリーダーとなり、働きやすい自由闊達な職場風土をはぐくむ取り組みに注力する。

評価



2011年度の実績、コメント	関連取り組み
<p>事業所長が全従業員に対しヒューマンリレーション研修を実施。セクハラ・パワハラ相談窓口について全事業所に担当者を配置しスキルアップを図った。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ コンプライアンスの考え方 ■ CSRマネジメントツール ■ コンプライアンス推進活動 ■ 内部通報システムと公益通報者の保護 ■ ヒューマンリレーション推進体制 ■ ヒューマンリレーション研修 ■ セクシュアルハラスメント、パワーハラスメント相談窓口

2012年度目標

引き続き、事業所責任者の率先垂範による自由闊達な職場風土づくりに注力

2011年度目標

評価

内部統制システムの運用徹底、リスクマネジメントの強化に引き続き取り組む。

○

2011年度の実績、コメント	関連取り組み
新しい業務ルールを適正に運用。2011年度にコンプライアンス上の大きな問題は発生しなかった。	<ul style="list-style-type: none">▶ コーポレートガバナンス・内部統制システム▶ コンプライアンスの考え方▶ CSRマネジメントツール▶ コンプライアンス推進活動▶ 内部通報システムと公益通報者の保護▶ 個人情報保護の取り組み▶ リスクマネジメント体制

2012年度目標

「内部統制システム」の運用徹底、リスクマネジメントの強化に引き続き取り組む。

2011年度目標

サステナビリティレポートを活用した意見交換会などのステークホルダーとの対話機会を創出。

評価



2011年度の実績、コメント	関連取り組み
<p>「ゼロエミッションセンター」「サステナブル デザイン ラボラトリー」「観環居」などでサステナブルな暮らしについて、多様なステークホルダーとさまざまなコミュニケーションを実施。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 近未来型住宅「ゼロエミッションハウス」 ▶ 「サステナブル デザイン ラボラトリー」 ▶ 「観環居」生活者目線のスマートハウスの実現を目指して ▶ 地域・社会との対話 ▶ 「サステナビリティレポート」の発行 ▶ 環境イベントへの出展 ▶ サステナブルブックレットの発行

2012年度目標

見学会、フォーラム等の開催継続とサステナビリティレポートを活用したステークホルダーとの対話機会創出。

お客様のために

お客様満足の上

2011年度目標

オーナー様とのコミュニケーションを強化、さらなるお客様満足向上を目指す。

評価



2011年度の実績、コメント	関連取り組み
<p>「Netオーナーズクラブきずな」は月2回のコンテンツ更新で情報の鮮度を向上。 オーナー様向け情報誌の定期発行とアンケートの実施、分析、改善。</p>	<ul style="list-style-type: none">▶ CS(お客様満足)に関する方針と体制▶ グループ全員で実践するCSアクション▶ お客様アンケートの分析とフィードバック▶ オーナー様とのコミュニケーションツール▶ 賃貸住宅における入居者満足の向上

2012年度目標

オーナー様とのコミュニケーションを強化、さらなるお客様満足向上を目指す。

2011年度目標

オーナー住宅買取再生事業「エバーLOOP」の理解・浸透を図り、資源の有効活用と住宅の長寿命化、既設住宅の取引市場の形成に貢献する。

評価

△

2011年度の実績、コメント	関連取り組み
当社グループの連携を高め、買取り実績は累計171件。	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 「エバーLOOP」～オーナー住宅買取再生事業 ▶ リサイクル材の開発

2012年度目標

「エバーLOOP」の理解・浸透を図り、既設住宅の取引市場の形成に貢献。

2011年度目標

環境に配慮した創エネ・省エネリフォームを積極的に推進。当社物件、一般物件とも一層の事業拡大を図る。

評価

○

2011年度の実績、コメント	関連取り組み
リフォーム実績が増加。当社物件、在来木造等の一般物件リフォーム等も含めると売上合計で1021億円の実績。(前期比11.7%増)	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 創エネ・省エネリフォーム ▶ 循環型社会の形成につながるリフォーム事業

2012年度目標

太陽光発電リフォームに特に注力し、低炭素社会の実現に寄与。

2011年度目標

「いつもいまが快適」をテーマに、あらゆる世代を通じて、誰もが使いやすく心地よい「スマートUD」の住まいづくりを推進。

評価



2011年度の実績、コメント	関連取り組み
<p>「第5回キッズデザイン賞」で7項目を受賞し、多彩な取り組みが評価された。 「高遮音床システム〈L-55〉〈SHAIDO55(シャイド55)〉」が優秀賞、「積水ハウスのLEDくらし」が審査委員長特別賞を受賞。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 積水ハウスの住まいづくり ▶ 「グリーンファーストLEDーかながわ」の展開 ▶ 安全・安心・健康・快適

2012年度目標

誰もが使いやすく心地よい「スマートUD」の住まいづくりを推進。

2011年度目標

「納得工房」「住まいの夢工場」などの体験型学習施設を有効活用し、安全・安心・快適な住まいづくりをサポートする。

評価



2011年度の実績、コメント	関連取り組み
<p>来場者数「納得工房」3万4291人、「住まいの夢工場」7万7826人、「住まいの家学館」7万8107人。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 積水ハウスの住まいづくり ▶ R&Dの拠点「総合住宅研究所」 ▶ 体験型学習施設を通じた「コンサルティング・ハウジング」 ▶ 体験教育機会を提供「住まいの夢工場」

2012年度目標

体験型学習施設を有効活用し、安全・安心・快適な住まいづくりをサポート。

2011年度目標

環境配慮型賃貸住宅「シャームゾン グリーンファースト」の拡販に注力し、年間1200棟の受注、全体の25%を目指す。

評価



2011年度の実績、コメント	関連取り組み
環境配慮型賃貸住宅「シャームゾン グリーンファースト」の受注実績は業界最多の1239棟。 一括借上・管理室数48万9967室、入居率95.6% 入居者向け総合サービス「MASTクラブ」会員は約46万6000人。	<ul style="list-style-type: none">▶ 「グリーンファースト」とは▶ 賃貸住宅における「グリーンファースト」の進捗▶ オーナー・入居者双方にメリットのある賃貸住宅の提案▶ 賃貸住宅における入居者満足の向上

2012年度目標

「シャームゾン グリーンファースト」の拡販に注力し、全体の30%を目指す。(環境目標に移行)

コミュニティの形成と地域文化の継承

2011年度目標

「まちなみ参観日」「隣人祭り」の開催地を増やし、地域住民によるコミュニティづくり、地域文化継承をサポート。

評価



2011年度の実績、コメント	関連取り組み
年2回開催の「まちなみ参観日」で戸建住宅123会場631棟、マンション9会場139戸を供給。 「隣人祭り」を83回開催。	<ul style="list-style-type: none">▶ 「ひとえん」づくりによるコミュニティの醸成▶ 安全・安心・快適なまちなみ・コミュニティを体感できる「まちなみ参観日」▶ 「経年美化」のまちづくり

2012年度目標

「まちなみ参観日」「隣人祭り」の開催地を増やし、コミュニティづくり、地域文化継承をサポート。

従業員、取引先のために

従業員とともに

2011年度目標

「人材サステナビリティ」宣言に基づき、より一層「従業員が幸せを感じ、いきいきと仕事ができる企業集団」となるよう職務面談、評価制度の改訂等の施策を実行。

評価



2011年度の実績、コメント	関連取り組み
<p>従業員のやりがい、納得度を高めるべく、評価制度を一部改訂。 企業理念に基づく活力あふれる組織風土がさらに強化されつつある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 人事基本方針 ▶ 社内公募制度 ▶ 育児や介護休業に向けた各種制度 ▶ 休職従業員へ向けた各種支援制度 ▶ 自己啓発の支援

2012年度目標

より一層「従業員が幸せを感じ、いきいきと仕事ができる企業集団」となるよう多面的に取り組む。

2011年度目標

女性が成果を出しながら、いきいきと働き続けることができる環境の整備と意識改革による女性活躍のさらなる推進。

評価



2011年度の実績、コメント	関連取り組み
女性営業職で優秀な業績を挙げながら、結婚、出産、育児を経験した従業員が徐々に増加。 女性管理職も増加し、グループで34人となった。	<ul style="list-style-type: none">■ 女性の管理職への登用■ 女性営業職の積極採用、支援■ 展示場接客担当者の育成■ 「リフォームアドバイザー」の積極採用■ 育児や介護休業に向けた各種制度

2012年度目標

女性が成果を出しながら、いきいきと働き続けることができる環境の整備と意識改革推進。

2011年度目標

社内諸制度の利用を促進し、多様な人材の活用を進める。障がい者雇用は喫緊の課題として取り組む。

評価



2011年度の実績、コメント	関連取り組み
職群転換制度により8人が職群転換。退職者復職登録制度については、7人が復職。 障がい者雇用率は1.75%となった。	<ul style="list-style-type: none">■ 社内公募制度■ 育児や介護休業に向けた各種制度■ 休職従業員へ向けた各種支援制度■ 障がい者雇用の推進

2012年度目標

社内諸制度の利用促進と、多様な人材活用を進め、障がい者の採用は喫緊の課題として取り組む。

2011年度目標

労務管理コンプライアンスを徹底し、多様な働き方とワーク・ライフ・バランスを支援する。

評価

△

2011年度の実績、コメント	関連取り組み
女性育児休業 取得者は87人から121人に、短時間勤務制度の利用者は164人から173人へ増加。 また研修により、働き方の変革や業務改善による生産性の向上を促進。	<ul style="list-style-type: none">▶ 社内公募制度▶ 育児や介護休業に向けた各種制度▶ 休職従業員へ向けた各種支援制度

2012年度目標

労務管理コンプライアンスを徹底し、多様な働き方とワーク・ライフ・バランスを支援する。

2011年度目標

各事業所の安全衛生委員会の積極活用等により労働安全衛生を一層推進する。

評価

○

2011年度の実績、コメント	関連取り組み
業務災害30件(前年度比12件減)、通勤災害18件(6件増)。 メンタルヘルスを重要テーマとしたヒューマンリレーション研修を実施。	<ul style="list-style-type: none">▶ 育児や介護休業に向けた各種制度▶ 休職従業員へ向けた各種支援制度▶ メンタルヘルスマネジメント▶ 労働災害発生状況▶ 労働安全衛生マネジメントシステム▶ 施工現場での労働安全衛生活動▶ 職場での労働環境の改善▶ 安全衛生教育研修の実施▶ ヒューマンリレーション研修

2012年度目標

引き続き各事業所の安全衛生委員会の積極活用等により労働安全衛生を一層推進する。

2011年度目標

取引先との健全な関係を継続するため、グループ会社を含めて、「企業倫理要項」等のルールを徹底する。

評価

△

2011年度の実績、コメント	関連取り組み
<p>全従業員対象に「下請法」に関する研修を実施。 サプライヤーとの双方向コミュニケーションを重視した改善活動を継続。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶ グループ会社と協力工事店による任意組織「積水ハウス会」 ▶ コンプライアンス推進活動 ▶ 「企業倫理要項」の遵守 ▶ サプライチェーンマネジメント ▶ 購買方針 ▶ お取引先様との相互コミュニケーション

2012年度目標

取引先との健全な関係を継続するため、「企業倫理要項」等のルールを徹底。

株主、地域社会のために

株主とともに

2011年度目標

中長年にわたる高い利益配分の実現と経営の健全性を維持するため、中期的な平均配当性向40%を確保。

2011年度は中間配当10円、期末配当10円の通期20円を予定。

評価



2011年度の実績、コメント

通期の1株当たり配当金は20円となった。
株主優待制度として引き続き、株主優待ポイント制度および贈呈制度を実施。

関連取り組み

■ [株主とのコミュニケーション](#)

2012年度目標

中期的な平均配当性向40%を確保。

2012年度は、中間配当12円、期末配当13円の通期25円を予定。

2011年度目標

地域に開かれた企業として、自社の施設やノウハウを生かして、住文化の向上に注力する。

評価



2011年度の実績、コメント	関連取り組み
<p>「すまい塾」472人受講。「Webすまい塾」申込381件、産学連携と大学間の交流を図る。</p> <p>「住空間ecoデザインコンペティション」は全国50大学から187作品の応募。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 住まいづくりの教室「すまい塾」の開催 ▶ 「生活リテラシーブック」の発刊 ▶ 「view point」の発行 ▶ 「住まいの図書館」の運営 ▶ 出版事業を展開「株式会社住まいの図書館」 ▶ 「住み継がれる家の価値」発行への協力 ▶ 「住空間ecoデザインコンペティション」開催 ▶ 新梅田シティ「新・里山」での教育貢献

2012年度目標

地域に開かれた企業として、引き続き自社の施設やノウハウを生かして、住文化の向上に注力。

2011年度目標

体験型学習施設などを利用した教育貢献活動をさらに充実させ、授業での講師派遣や職場体験の受け入れを拡大する。

評価

○

2011年度の実績、コメント	関連取り組み
<p>学生の見学者数:「納得工房」「住まいの夢工場」「住まいの家学館」で計6475人。「新・里山」での小学生・幼稚園児の農作業体験を実施。「いえコロジー」セミナーなど3プログラムを継続実施。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 総合住宅研究所の教育貢献活動 ▶ 体験教育機会を提供「住まいの夢工場」 ▶ 各地の教育貢献活動 ▶ インターンシップの実施 ▶ 「住空間ecoデザインコンペティション」開催 ▶ 環境教育プログラムの実施 ▶ 新梅田シティ「新・里山」での教育貢献

2012年度目標

教育貢献活動をさらに充実させ、講師派遣や職場体験の受け入れを拡大。

地域社会への貢献

2011年度目標

社会貢献活動の情報発信、共有と内容のさらなる充実により全体的な取り組みレベルの底上げを図る。

評価

○

2011年度の実績、コメント	関連取り組み
<p>従業員からの災害義援金など8545万円。SELP製品をノベルティとして2万8452個採用。 障害者週間行事を行政、経済団体、NPO、他企業と共催。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶ セルプ製品の販売協力、ノベルティ採用 ▶ 障害者週間行事への参画 ▶ 月刊メールマガジン「CSRコラム」 ▶ 災害義援金 ▶ 社会貢献活動社長表彰

2012年度目標

情報発信共有と内容の充実により全体的な取り組みレベルの向上を図る。

2011年度目標

「積水ハウスマッチングプログラム」第6回は29団体へ1566万円を助成予定。

従業員の活動理解と参加を促進。

評価

○

2011年度の実績、コメント	関連取り組み
東日本大震災遺児を経済支援する「もも・かき育英会基金」を新たに設置、1回目として750万円を寄付。 こども基金、環境基金の第6回は29団体へ1566万円助成。第7回は124プログラムが応募。	<ul style="list-style-type: none">■ 従業員と会社の共同寄付制度「積水ハウスマッチングプログラム」■ 公益信託「神戸まちづくり六甲アイランド基金」

2012年度目標

第7回は、21団体に1660万円を助成。

従業員の活動理解と参加を促進。

エコ・ファーストの約束1(家庭部門・事業活動のCO₂排出量削減)

居住時CO₂削減

2011年度目標

太陽光発電システム搭載・戸建住宅 1万2000棟契約

評価

△

2011年度の実績、コメント

関連する取り組み

太陽光発電システム搭載戸建住宅1万1222棟契約

▶ 太陽光発電の普及促進

災害時のエネルギー自給により、太陽光発電に対する需要は高まり、設置率は向上しました。建物の契約棟数自体が減少したにも関わらず、設置棟数自体は前年実績を上回りました。

2012年度目標

太陽光発電システム搭載。戸建住宅1万2000棟契約。

2011年度目標

燃料電池3500台契約目標

評価

○

2011年度の実績、コメント

関連する取り組み

燃料電池搭載住宅5356棟契約

▶ 燃料電池の普及促進

震災による電力不安を背景にガス併用住宅に対する需要が高まったこと、家庭用燃料電池の認知度が高まってきたことなどにより、前年実績を大きく上回る実績を達成しました。

2012年度目標

燃料電池搭載住宅6000棟契約

2011年度目標

開口部の断熱リフォーム面積 10万4400㎡、高効率給湯器の設置棟数 4800棟、太陽光発電システム設置棟数 2900棟、省エネバスリフォーム 4850セット。
(積水ハウスの取り組み)

評価



2011年度の実績、コメント	関連する取り組み
<p>開口部の断熱リフォーム面積 5万6668㎡ 高効率給湯器の設置棟数4189棟 太陽光発電システム設置棟数2412棟 省エネバスリフォーム3226セット</p> <p>リフォームエコポイント制度期間中は、ポイントの対象となる開口部の断熱リフォーム工事を中心に取り組みが進みました。制度終了(7月)後は、積水ハウスリフォーム(株)独自の「エコサポート」制度にてリフォーム取組みを支援しましたが、目標の達成には至りませんでした。このような中、高効率給湯器の設置棟数、太陽光発電システムの設置棟数は前年比でそれぞれ増加しました。</p>	<p>■ 創エネ・省エネリフォーム</p>

2012年度目標

開口部の断熱リフォーム面積 7万4400㎡、高効率給湯器の設置棟数 4,700棟、太陽光発電システム設置棟数 3,500棟、省エネバスリフォーム 3,500セット

2011年度目標

環境共生住宅建築戸数700戸

評価



2011年度の実績、コメント	関連する取り組み
<p>環境共生住宅建築戸数421戸</p> <p>年2回開催の分譲住宅フェア「まちなみ参観日」では全販売住戸を環境共生住宅とした他、フェア以外の一般の建売住宅についても積極的に環境共生住宅の販売を進めましたが、供給実績は421戸にとどまりました。</p>	<p>■ 人と自然が共生する環境共生住宅</p>

2012年度目標

新規建売分譲住宅における環境共生住宅認定割合100%

2011年度目標

省エネ生活普及教育活動を80回実施

評価

×

2011年度の実績、コメント	関連する取り組み
「いえコロジー」セミナーなど省エネ生活の普及を目的とした出張授業、セミナー等を50回実施	■ 環境教育プログラムの実施

2012年度目標

節電・省エネ生活普及教育活動を積極的に推進(社会性目標に移管)

事業活動、生産時のCO₂削減

2011年度目標

生産及び輸送に関わる出荷m³当たりのCO₂排出量をそれぞれ2010年度比で3%削減

評価

○

2011年度の実績、コメント	関連する取り組み
生産に関わるCO ₂ 7.0%削減、輸送に関わるCO ₂ 0.4%増加 ⇒生産・輸送合計4.0%削減 生産に関わるCO ₂ 排出量は、静岡工場にて燃料転換(灯油・LPGのLNGへの転換)を実施した他、各工場においてインバータ化や高効率照明器具への変更等の省エネ策を進め、目標を達成しました。一方、輸送に関わるCO ₂ 排出量は、静岡工場での集中生産による他工場への転送輸送などが要因となり、増加しました。この結果、生産・輸送部門合計で4.0%の削減実績となりました。	■ 生産時のエネルギー消費

2012年度目標

出荷m²当たりのCO₂排出量を生産時は2011年度比6.2%削減、輸送時は2011年度比3.0%削減

2011年度目標

夏季ピーク電力15%カット

評価



2011年度の実績、コメント	関連する取り組み
<p>25.3%削減(7~9月:全社事務所)</p> <p>生産部門については、輪番制の業務シフトの導入などの思い切った対応が奏功しました。従来、接客業務の関係で節電の難しかった事業所などにおいてもお客様の理解を頂いての節電の働きかけが可能となったほか、執務スペースでは空調や照明の削減に向けた社員の意識向上により予定を上回る成果が出せました。</p>	<p>▶ 「エコ・ファースト企業」としての自主宣言行動による節電取り組み</p>

2012年度目標

省エネ法努力目標の達成

2011年度目標

業務用車両更新時に低燃費車にシフト

評価



2011年度の実績、コメント	関連する取り組み
<p>車両台数削減とともに達成</p> <p>低燃費車への切り替えが予定通り進んだことに加え、社内のカーシェアリングにより業務用車両の共有推進などによる車両台数の削減を進め、業務用車両に基づく環境負荷の低減が進みました。</p>	<p>▶ 環境に配慮した車両の導入とエコドライブ・安全運転の推進</p>

2012年度目標

低燃費車率94%、低排出ガス車率98%

エコ・ファーストの約束2(生態系ネットワークの復活)

材料調達時の生態系への配慮

2011年度目標

「木材調達ガイドライン」の改定

評価



2011年度の実績、コメント	関連する取り組み
<p>「木材調達ガイドライン」を改定</p> <p>環境NGOとも連携して調達指針を改訂。社会性や温暖化対策の強化、データベースの更新などを行いました。新しい評価項目のサプライヤーへの周知や運用方法の改善、より一層の調達レベルの向上を目指して、取り組みを進めていきます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 木材調達ガイドラインとは ■ 木材調達ガイドラインの運用と改定

2012年度目標

新ガイドラインの本格運用

2011年度目標

森林認証制度のCoC認証取得

評価

△

2011年度の実績、コメント	関連する取り組み
<p>関係部署とともにCoC認証取得に対する検討を行いました</p> <p>震災の影響もあり、今期中の認証取得はできませんでしたが、フェアウッド調達の必要性や今後の方向性を工場の木材担当者と共有し、工場内の製造ラインを視察して分別管理の方法を検討しました。</p> <p>具体的な団地開発案件については、プロジェクト認証に向けた提案を行い、認証取得に向けてキックオフしました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 木材調達ガイドラインとは ▶ 木材調達ガイドラインの運用と改定

2012年度目標

森林認証取得について、継続検討。

住宅の植栽を通じた生態系保全

2011年度目標

年間植栽本数100万本

評価

△

2011年度の実績、コメント	関連する取り組み
<p>96万本</p> <p>植栽本数を向上させるためには、建物と外構の「同時契約」締結を重要な要因と分析し、全社レベルでそのデータ把握と進捗状況共有のシステムを整備して取り組みを進めました。また、同時に、外構契約率アップの余地の高い事業所や営業本部に対しては、造園緑化の魅力をお客様に伝えるための個別の提案等を重ねました。こうした取り組みも奏功し、前年比5万本増加しましたが、目標には達しませんでした。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 「5本の樹」計画とは

2012年度目標

年間植栽本数100万本

2011年度目標

生物多様性の大切さを伝える環境教育プログラム「Dr.フォレストからの手紙」を地域事業所との連携強化で継続実施。

評価



2011年度の実績、コメント	関連する取り組み
<p>8回、479名に実施</p> <p>震災復興への対応により、「Dr.フォレスト」講師メンバーも復興現場へに派遣されたり、震災の影響で依頼自体が減少したこともあり、当社側からの積極的な働きかけを抑制した結果、実施数は減少しました。状況を見ながら実施の是非や方針を検討していく予定です。</p>	<p>▶ 環境教育プログラムの実施</p>

2012年度目標

(社会性目標に移管)

2011年度目標

「まちなみ参観日」販売物件で植栽を継続実施。

評価



2011年度の実績、コメント	関連する取り組み
<p>春・秋の年2回開催の「まちなみ参観日」にて販売する建売分譲建物の外構植栽に、当社の推進する「5本の樹」計画に基づく自生種・在来種樹木を採用する取り組みが定着し、2011年も「まちなみ参観日」販売物件すべてで、「5本の樹」計画樹種を採用しました。</p>	<p>▶ 人と自然が共生する環境共生住宅</p>

2012年度目標


新規販売建売分譲住宅すべて「5本の樹」計画樹種を植栽。

2011年度目標

網で区画を細分化し、鹿の食害を防ぐ「パッチ植栽」を継続実施。

評価



2011年度の実績、コメント	関連する取り組み
<p>パッチ植栽の実施</p> <p>企業の森で植栽した苗木について鹿の食害などの被害を受けたために、一定の植栽面積を網で囲う「パッチ植栽」という手法を実施して食害の防止に取り組みました。進捗を見て、森林組合など関係者と検討しながら、今後の進め方を検討していきます。</p>	<p> 「企業の森」制度への参加</p>

2012年度目標

春にパッチ植栽実施をします。(社会性目標に移管)

エコ・ファーストの約束3(資源循環の取り組み)

生産・施工時の資源循環

2011年度目標

出荷面積当たりの工場生産時の2010年度比3.0%削減。

評価

×

2011年度の実績、コメント	関連する取り組み
<p>2010年度比 3.1%増加</p> <p>浅井工場での木製品の内製化を進めたことと、バイオマス発電装置の不調が重なり、木くずが大幅に増加しました。今後は、バイオマス発電の稼働時間延長を進め、廃棄物削減だけでなく、購入電力削減にも努めます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 工場ゼロエミッションの取り組み ▶ 木質バイオマス・ガス化発電システムの導入

2012年度目標

2011年度比 3.0%削減

2011年度目標

生産・施工廃棄物のマテリアルリサイクル率90%

評価

○

2011年度の実績、コメント	関連する取り組み
<p>90.2%</p> <p>廃石膏ボードのライン材化(プラタマパウダー)や廃瓦の利用(SHAIDD55の防振材や陶板外壁原料)等、自社リサイクルを進め、目標をクリアしました。今後は、リサイクル市場・技術・環境負荷のベストバランスを追及していきます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶ リサイクル材の開発

2012年度目標

—

2011年度目標

電子マニフェストの運用を維持しつつ、今後も適正処理に努める。

評価

△

2011年度の実績、コメント	関連する取り組み
電子マニフェスト化率85% 2012年7月末の100%達成を目標として、個別操作研修などにより推進します。	<ul style="list-style-type: none">IT技術を活用した資源循環体制の運用

2012年度目標

電子マニフェスト化率100%

2011年度目標

軽量鉄骨戸建住宅(B型)の新築施工現場廃棄物発生量目安1200kg/棟

評価

-

2011年度の実績、コメント	関連する取り組み
1365kg/棟 ICタグによる把握精度向上により前年比で数値は微増しました。 鉄骨賃借住宅(SHM)についてはプレカット工法を標準としました。 今後、軽量鉄骨住宅(B型)についても採用を検討していきます。	<ul style="list-style-type: none">新築施工現場のリデュース新築施工現場でのゼロエミッションIT技術を活用した資源循環体制の運用

2012年度目標

B型発生量目安として1200kg/棟

2011年度目標

木造戸建住宅(SW)の新築施工現場廃棄物発生量目安1500kg/棟

評価

—

2011年度の実績、コメント	関連する取り組み
<p>1824kg/棟</p> <p>ICタグによる把握精度向上により前年比で数値は微増しました。 鉄骨賃借住宅(SHM)についてはプレカット工法を標準としました。 今後、木造戸建住宅(SW)についても採用を検討していきます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 新築施工現場のリデュース ▶ 新築施工現場での ゼロエミッション ▶ IT技術を活用した 資源循環体制の運用

2012年度目標

SW発生量目安として1500kg/棟

2011年度目標

重量鉄骨戸建住宅(βシステム)の新築施工現場廃棄物発生量1200kg/棟

評価

—

2011年度の実績、コメント	関連する取り組み
<p>1856kg/棟</p> <p>ICタグによる把握精度向上により前年比で数値は微増しました。 鉄骨賃借住宅(SHM)についてはプレカット工法を標準としました。 今後、重量鉄骨戸建(βシステム)についても採用を検討していきます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 新築施工現場のリデュース ▶ 新築施工現場での ゼロエミッション ▶ IT技術を活用した 資源循環体制の運用

2012年度目標

βシステム発生量目安として1200kg/棟

2011年度目標

軽量鉄骨賃貸住宅(SHM)の新築施工現場廃棄物発生量目安1000kg/棟

評価

—

2011年度の実績、コメント	関連する取り組み
<p>1173kg/棟</p> <p>ICタグによる把握精度向上により前年比で数値は微増しました。鉄骨賃貸住宅(SHM)についてはプレカット工法を標準としました。但し、低層(2階建て)分の採用になっていますので。今後、中層(3階建て・4階建て)についても採用を検討していきます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 新築施工現場のリデュース ▶ 新築施工現場でのゼロエミッション ▶ IT技術を活用した資源循環体制の運用

2012年度目標

SHM発生量目安として1000kg/棟

2011年度目標

データの精緻化により削減施策の実効性を判定。削減活動を加速

評価

○

2011年度の実績、コメント	関連する取り組み
<p>2010年11月ICタグシステムの全国展開完了。2011年の実績は実測数値の把握</p> <p>個別邸で稼動する上限管理値・下限管理値による管理状態判定システムを開発していきます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶ IT技術を活用した資源循環体制の運用

2012年度目標

—

2011年度目標

評価システムのレベルを向上し、効率改善を図る。

評価

○

2011年度の実績、コメント	関連する取り組み
<p>評価基準の見直しとマニュアルの改訂発行</p> <p>ツール類の充実や研修などを通じ維持管理に努めるとともに新規業者などについて順次評価システムを適用していきます。</p>	<p>■ 廃棄物処理に関する リスクへの対応</p>

2012年度目標

—

その他

事務作業時の資源循環

2011年度目標

事業所購買担当者との勉強会を実施するなどし、グリーン購入率のアップを図る。

評価



2011年度の実績、コメント	関連する取り組み
<p>一部営業本部で担当者勉強会を実施。担当者の積極的な活動により、グリーン購入率を88.7%から93.0%へ向上</p> <p>全社レベルで構築した文具や備品のイントラネット上の購入システムについて、グリーン購入製品を優先的に表示される表示や社内での浸透が進み、また、グリーン購入製品の一般製品との価格差が縮小したこともあって、全社レベルで採用が日常化しました。</p>	<p>▶ 「グリーン購入」の推進</p>

2012年度目標

グリーン購入率95%

化学物質の管理

2011年度目標

商品レベルでの標準化など、さらなる普及促進に取り組む。

評価



2011年度の実績、コメント	関連する取り組み
<p>鉄骨系主力商品で、空気環境配慮仕様「エアキス」を標準化</p> <p>「ケミレス[®]タウンプロジェクト」の成果を生かし、ホルムアルデヒド・トルエン・キシレン・エチルベンゼン・スチレンの放散濃度を国の指針値の1/2以下とする空気環境配慮仕様「エアキス」を7月に発売しました。</p>	<ul style="list-style-type: none">▶ 次代の要請に応える未来への取り組み / 健康への配慮▶ 「エアキス」の開発と普及

2012年度目標

一層の普及・拡大

従業員による環境行動

2011年度目標

「事業活動、生産時のCO₂削減」と合わせて取り組む。

評価



2011年度の実績、コメント	関連する取り組み
<p>全社で夏季・冬季節電に対応</p> <p>15%削減の夏季節電要請に対し、エコ・ファースト企業として「夏季のピーク電力削減及び節電目標」を宣言。これにより事務所部門では25%節電、東北・関東両工場では28%・21%のピークカットを達成。いずれも要請を大幅に超える節電取り組みでした。また、冬季も自主的に節電に取組み、電力会社の要請を超える節電を達成しました。</p>	<ul style="list-style-type: none">▶ 「エコ・ファースト企業」としての自主宣言行動による節電取り組み

2012年度目標

夏季・冬季を中心に節電取り組みを継続